

山陽小野田市中学校部活動所属生徒数一覧

運動部	高千帆中		小野田中		竜王中		厚狹中		埴生中		厚陽中		市内人数		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
陸上競技	33	16	28	6	9	4	(5)	(3)					75	29	104
水泳競技	(2)	(4)	(2)	(2)		(1)	(5)	(1)					9	8	17
体操競技								(2)					0	2	2
相撲			(1)										1	0	1
柔道				(1)						(1)			0	2	2
剣道						(1)	9	7	(1)				10	8	18
バスケットボール	21	17	15	13		12	28	23					64	65	129
バレーボール		27		7		17	2	11		8			2	70	72
ソフトテニス	45	37	34	44		13	35	33	20	16		9	134	152	286
卓球	27	28	30	26	28		29	15	3	0	6	(1)	123	70	193
軟式野球	18		18		22	1	24		2	1			84	2	86
サッカー	39		16		12								67	0	67
弓道							21	6					21	6	27
テニス							(1)						1	0	1
合計	185	129	144	99	71	49	159	101	26	26	6	10	591	414	1,005

※(数)は臨時部的人数

文化部	高千帆中		小野田中		竜王中		厚狹中		埴生中		厚陽中		市内人数		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
吹奏楽	6	38	5	34	7	19	1	36			0	1	19	128	147
総合文化			4	6	5	8	1	21	5	6			15	41	56
美術			3	17									3	17	20
美術・文芸	2	22											2	22	24
英語	11	14											11	14	25
ボランティア	9	4											9	4	13
合計	28	78	12	57	12	27	2	57	5	6	0	1	59	226	285

全校生徒数	461	337	182	356	87	27	市内生徒数	1,450
部活動加入者合計	420	312	159	319	63	17	市内部活動所屬生徒数	1,290
部活動加入率	91%	93%	87%	90%	72%	63%	市内部活動加入率	89%
運動部活動加入率	68%	72%	66%	73%	60%	59%	市内運動部活動加入率	69%
文化部活動加入率	23%	20%	21%	17%	13%	4%	市内文化部活動加入率	20%

山陽小野田市中学生の文化スポーツ活動体制のイメージ

～地域の子どもは地域で育てる～

教育委員会 学校教育課

各中学校との連携・調整
学校施設利用調整
兼職兼業の制度整備

協創部 文化スポーツ推進課

文化スポーツ団体の管理
公共施設利用調整

<運営団体>※候補 行政・文化協会スポーツ協会

実施主体の確保、設立支援
指導者の確保、育成
(研修・講習の実施)
活動場所の確保、調整
実施主体の登録・管理
関係機関との調整

文化協会 スポーツ協会

指導者情報の把握、提供
競技団体の情報提供
指導者育成、指導者の派遣



各中学校 又は拠点校

活動場所の提供
外部指導者の
受け入れ

【中学校】

平日部活動の継続、指導者確保
実施主体との連絡調整
学校施設利用調整

【生徒・保護者】

希望する活動に参加
練習場所への移動の負担
会費や保険料などの負担
大会出場等に係る協力
実施主体の運営協力

<実施主体>※候補 地域クラブ活動団体

総合型地域 スポーツクラブ

スポーツ少年団

地域の文化 スポーツ団体

中学生対象の 新たなクラブ活動

活動情報の提供
活動への中学生の受け入れ
指導者育成・確保・派遣
多様なニーズに対応する活動
場所の提供

文化スポーツ活動 体制整備協議会

運営団体の管理
実施主体の要件の設定
活動体制整備に必要な調整

山口東京理科大学

指導・見守りとして学生派遣
活動場所の提供

民間企業・事業所

指導者としての従業員派遣
活動場所の提供

熊本市立中学校における新しい学校部活動の在り方（素案）について

① 学校部活動の意義等について

【概要版】

学校部活動の意義

- 仲間づくりや人間関係 ○放課後の居場所づくり
○自主的で多様な学びの場 ○生涯にわたる活動の基盤 等

現行の学校部活動の課題

- 少子化で部員数が減少し、学校単位で多様な部活動の提供が難しくなっている
○教職員は勤務時間外の指導や専門外の指導で負担が大きく、平日は無償、休日は少額の手当で従事している

本市が目指す新しい学校部活動（令和9年度～）

- 地域と連携して学校部活動を継続し、拠点校部活動等を推進することで、こどもたちの活動機会の確保・拡充を目指します
○指導者に報酬を支払うとともに、教職員については、指導を希望する者が兼職兼業の許可を得て指導を行うことで、負担を軽減します
○地域や企業と積極的に連携し、地域に支えられた活動を展開します

② 指導者について

○指導者は常時2人配置（顧問、副顧問）

○人材バンクの設置

指導者の想定：希望する教職員、退職教員、大学生
民間企業従事者、公務員、団体職員 等

顧問：1,600円/h 副顧問：1,000円/h

【参考】指導者の報酬月額（試算）

（週5日（月20日）活動を行った場合）

顧 問：1,600円×44時間※=70,400円

副顧問：1,000円×44時間※=44,000円

※週5日活動（平日4日×2h＋休日1日×3h）×4週＝44時間

③ 新しい学校部活動に要する費用（試算）について

〈試算条件〉・指導者 1,600人（主顧問800人、副顧問800人）
・部員総数 12,612人（R5時点）

指導費等	人材バンク運営に係る費用	総額
約6.0億円	約0.5億円	約6.5億円

○費用の負担割合について（試算）

項目	金額（割合）
受益者負担※1	約3.2億円
公費負担	約1.5億円
企業等の協賛	約1.8億円
総額	約6.5億円

※1：経済的に支援が必要な世帯への補助については公費から支出

受益者負担の月額（試算）

3,000円程度※2

※2：1週間当たりの活動回数によって金額は変動

熊本市HP
より抜粋

繩地ヶ鼻公園振興会